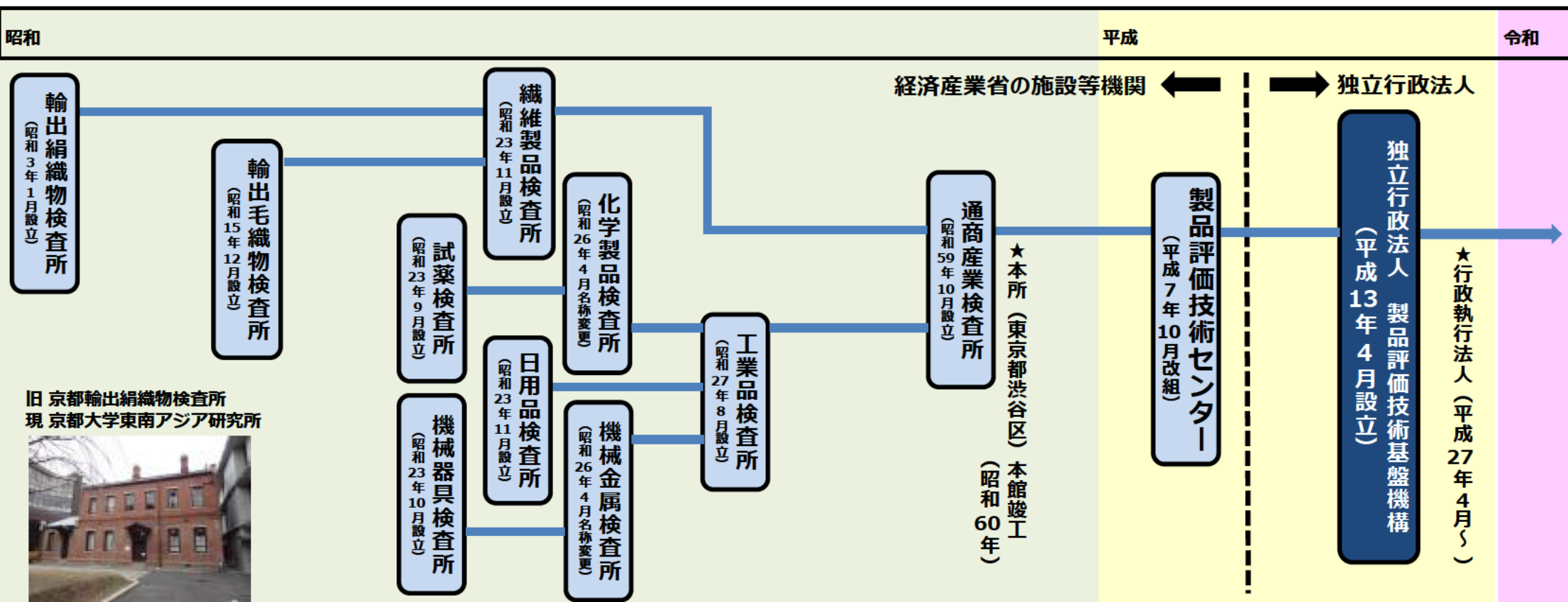




一般財団法人日本規格協会（JSA）との連携強化について （第1回標準エコシステム検討会 説明資料）

令和7年11月19日
独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

- NITEは、昭和3年（1928年）に商工省（現・経産省）に設置された輸出絹織物検査所が起源。
- 以降、組織改編を重ね、平成13年（2001年）に国家公務員型の独立行政法人としてスタート。
- 平成27年（2015年）から経産省傘下では唯一の行政執行法人。



- NITEの業務は、**5つの事業分野**と全体マネジメントで構成されている。



1. 製品安全分野

製品事故（消費者向け製品の事故）に関する情報を調査・分析し、製品事故の再発・未然防止に向けた情報を発信。



2. 化学物質管理分野

化学物質の人の健康や環境に影響するリスクの低減に貢献。合理的な化学物質管理制度を構築。



3. バイオテクノロジー分野

生物資源とそれらの情報の利活用によるイノベーション促進。生物資源の産業利用による安全確保。



4. 適合性認定分野

公的認定機関として試験所等を国際規格に基づき認定し、試験データの信頼性や製品の品質を下支え。



5. 国際評価技術分野

大型蓄電池システムなど先進的な評価技術の開発・国際標準の提案。電気設備などの電気保安を確保。

6. マネジメント分野

NITE全体のマネジメントやDXの推進。人事・会計等組織の活動を下支え。

新たな基準認証政策の展開 日本型標準加速化モデル2025

- 「日本型標準加速化モデル」に基づく従来の取組に、①特定分野における国主導の戦略的標準化と②国内認証機関の強化の取組等を加えて、新たな基準認証政策を展開する。施策効果については定期的にフォローアップを行うこととし、施策の深化を不断に行い、展開していく。

※政府全体の国家戦略（新たな国際標準戦略（国際社会の課題解決に向けた我が国の標準戦略）（令和7年6月3日知的財産戦略本部決定））も踏まえつつ、施策効果については定期的にフォローアップを行うこととし、施策の深化を不断に行い、展開していく。

本検討会の主眼

取組①：
特定分野について
産業政策と一体的に
国が標準化
活動を牽引



「標準」を軸とした
グローバル市場の創出・獲得
我が国の産業競争力強化へ

NITEに期待される役割・機能

- ・適合性評価スキームの創設への貢献
- ・業界団体、企業等に対する研修（人材育成）

取組②：国外認証機関との戦略的な連携強化、人材育成や業務効率化等による国内認証機関の抜本強化

【これまでの取組】「日本型標準加速化モデル」

全ての分野について
産業界の標準化活動の底上げ



- ・アカデミアの標準化活動評価の仕組み
- ・JIS作成プロセスの検証と改善

【参考③】 NITEが創設・拡充した認定プログラムと適合性評価スキーム **nite**

バイオマス燃料：PKS（パーム椰子殻）認証

＜認定プログラム創設：2023年度＞

＜PKS認証の概要＞

- ◆ PKS（パーム椰子殻）などのバイオマス燃料は、我が国のFIT/FIP制度において認証制度の活用が行われています。

※参考（FIT/FIP制度ウェブサイト）

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/surcharge.html

- ◆ 一般社団法人農産資源認証協議会（ARC）が運営するPKS認証制度は、サプライチェーン上の各事業者を一括して認証できるという特長があり、PKSの安定的な供給に寄与します。

- ◆ （一財）日本ガス機器検査協会は、PKS認証制度の認証機関として、IAJapanからISO/IEC 17065に基づき認定されました。

- ◆ この認定により、制度の信頼性向上と、バイオマス燃料の安定調達に貢献し、再生可能エネルギー比率の向上や気候変動対策の一助となることが期待されます。

※参考（IAJapanウェブサイト）

https://www.nite.go.jp/iajapan/information/info_news20240821.html

